

香春町立小中学校再編説明会



H29.1.23~H29.1.27

本日のながれ

1. はじめに
2. 香春町の現状
 - (1) 児童生徒数、学級数、学校規模
 - (2) 学校施設
 - (3) 学力、体力、学習状況
 - (4) 香春町の子どもたちの現状
 - (5) 中1ギャップ
3. 再編推進審議会からの中間答申内容
4. 今後のスケジュール



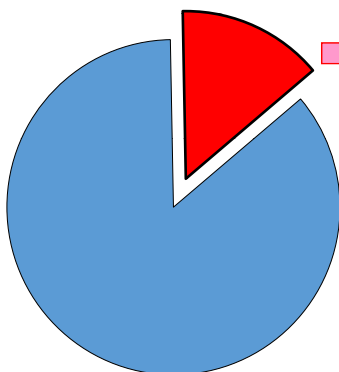
1. はじめに ～子どもたちの教育環境を向上させるため～

いつ	どこに	誰が	何を	なぜ	どうやって
開校時期	建設予定地	主 体	学校の種類	理 由	方 法
平成32年4月 開校予定	現在の 勾金中学校地	町全体が一体で、 一つの学校をつくる	9年間一貫した 義務教育学校	・児童生徒数減少 ・教育環境整備 ・学力向上等	住民の意見を反映した 審議会の答申内容を 尊重して

2-(1) 香春町の現状

香春町全体で児童生徒のいる世帯の割合

9.2%



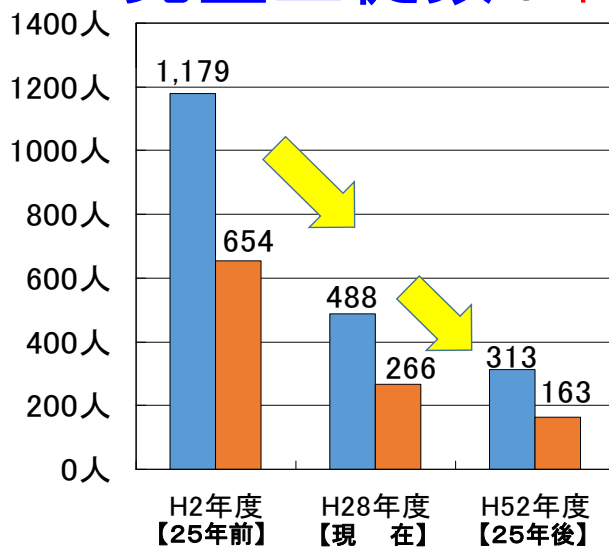
H28.10月末現在(住基台帳)

人口 11,439人

世帯 5,514世帯

2-(1) 児童生徒数

児童生徒数は年々減少



約25年前に比べ

- 児童数 ▲58.6%
- 生徒数 ▲59.3%

約25年後は...

- 児童数 ▲35.8%
- 生徒数 ▲38.7%

2-(1) 学級数・学級規模

1学年の学級数

H35年度以降、複式学級になる可能性がある。

H28年度

1～2学級

再編

【再編後】H32年度推計

2～3学級



再編後は、
クラス替え可能

1学年の学級規模

H28年度

6～36人

再編

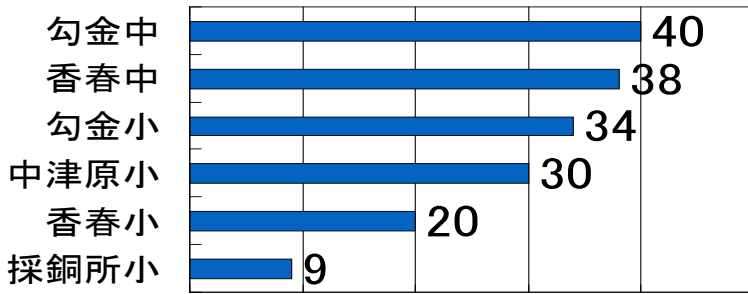
【再編後】H32年度推計

25～39人



再編後は、
適正な学級規模

2-(2) 学校施設の老朽化 (築年数)



校舎
築30年以上が65%以上

昭和50年代に
建設されたものが多く、
老朽化が著しい。

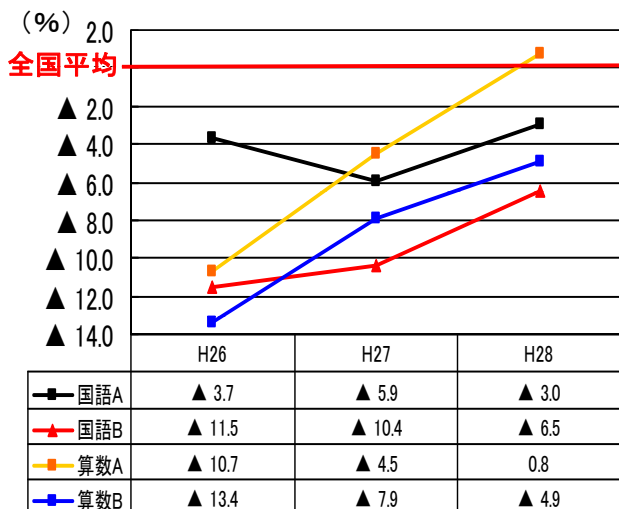


体育館
築30年以上が80%以上

2-(3) 学力 小学6年生

(香春町平均と全国平均の差)

H28年度 全国学力学習状況調査



• A (知識) よりB (活用) の方が低い

• 前年度に比べ、全国平均との差が縮まっている。

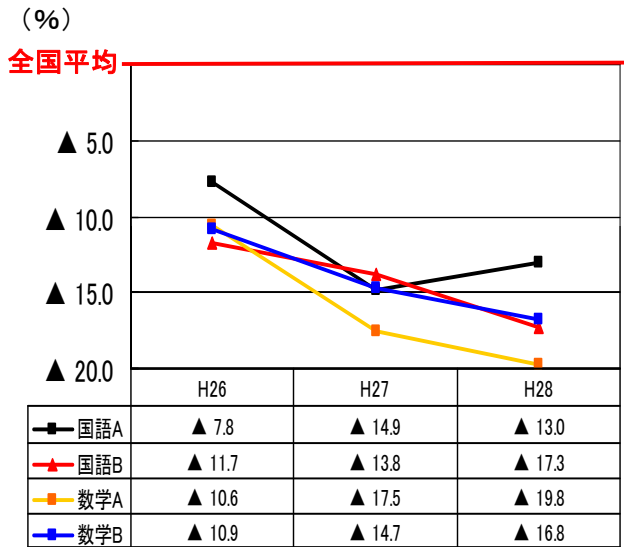
• 算数Aでは、全国平均を上回る。

• 国語A・B、算数Bでは、全国平均を下回る。

2-(3) 学力 中学3年生

(香春町平均と全国平均の差)

H28年度 全国学力学習状況調査



• A (知識) よりB (活用) の方が低い

• 前年度に比べ、国語Aを除き
全国平均との差がひろがっている。

• 学力低位層の割合が、
全国平均より多い。

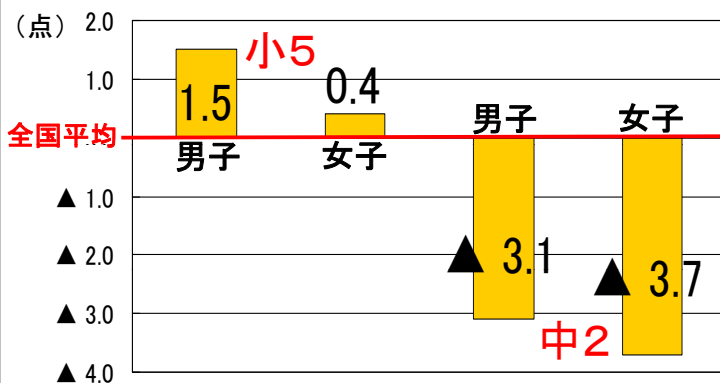


9

9

2-(3) 体力・運動能力 小学5年生・中学2年生

H27年度 全国体力・運動能力調査



小5
全国平均を上回る

中2
全国平均よりも低い

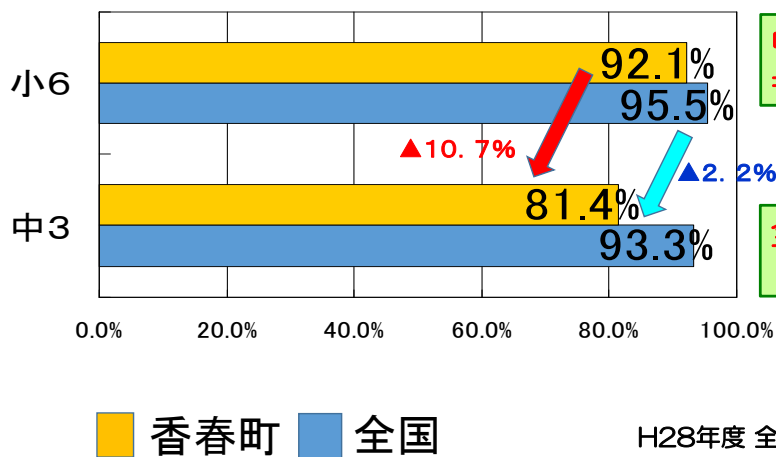
・学校による積極的な取り組みの結果
⇒年々体力が向上し、改善してきている。
しかし、
□日常生活において体を使う動作の減少傾向。
□外で遊ぶこと、体育の授業以外で体を使う機会が減少傾向。



10

2-(3) 朝食を毎日食べていますか？

朝食を毎日、食べている



小6と中3を比べると・・・

中3の「食べている」割合は、
⇒小6に比べ▲10.7%

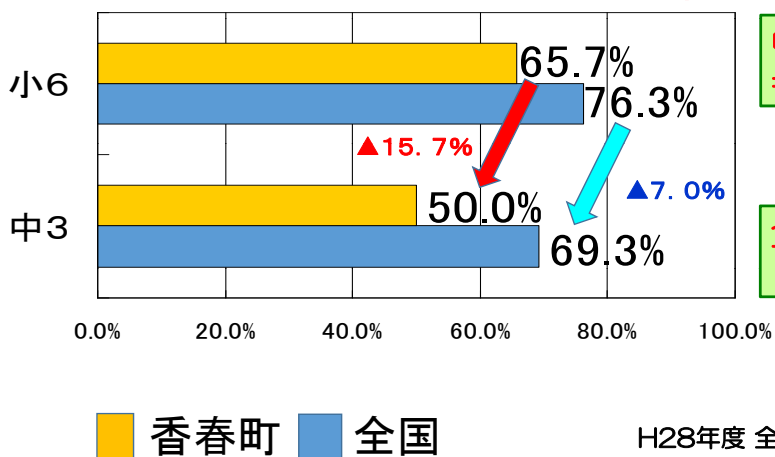
全国の減少幅より大きい
(▲2.2%)

H28年度 全国学力学習状況調査(小学6年生・中学3年生)



2-(3) 自分にはよいところがあると思いますか？

よいところ、あると思う(自尊感情)



小6と中3を比べると・・・

中3の「自尊感情が高い」割合
⇒小6に比べ▲15.7%

全国の減少幅より大きい
(▲7.0%)

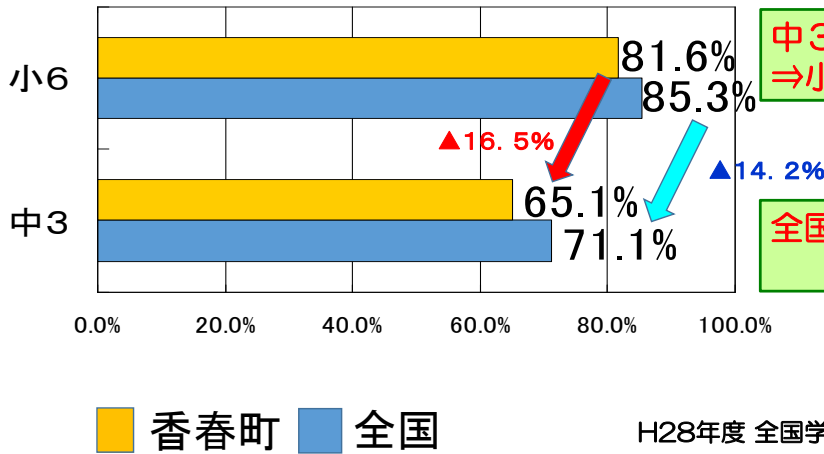
H28年度 全国学力学習状況調査(小学6年生・中学3年生)



2-(3) 将来の夢や目標を持っていますか？

こころざし

志、持っている



小6と中3を比べると・・・

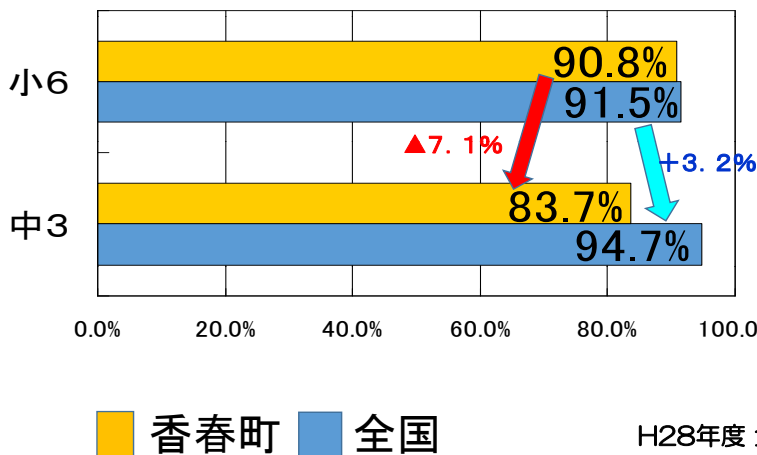
中3の「志が高い」割合
⇒小6に比べ▲16.5%

全国の減少幅より大きい
(▲14.2%)

H28年度 全国学力学習状況調査(小学6年生・中学3年生)

2-(3) 学校のきまりを守っていますか？

きまり、守っている(規範意識)



小6と中3を比べると・・・

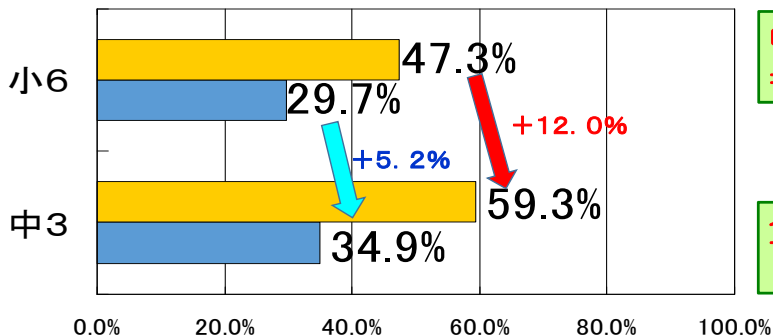
中3の「規範意識が高い」割合
⇒小6に比べ▲7.1%

香春町は、規範意識が低くなるが、
全国は、規範意識が高まる傾向
(+3.2%)

H28年度 全国学力学習状況調査(小学6年生・中学3年生)

2-(3) 普段(月～金曜) 1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(携帯電話ゲーム含)をしますか？

2時間以上ゲームをしている



小6と中3を比べると・・・

中3の「2時間以上」の割合
⇒小6に比べ+12.0%

全国の増加幅より大きい
(+5.2%)

■ 香春町 ■ 全国

H28年度 全国学力学習状況調査(小学6年生・中学3年生)



2-(4) 香春町の子どもたちの現状は・・・

✓ 学力

・学校による学力向上の取り組みやまなびの寺子屋、かわら塾等により
⇒改善が見られ、小学校では全国平均を上回る教科もあるが、小中ともに全国平均を下回る傾向。

✓ 基本的な生活習慣

・身につけている子どもも多くいるが、全国平均と比べ
「朝食を毎日食べている」割合が低い
就寝時間が遅い傾向
ゲーム等をする時間が多い

✓ 体力

・改善が見られるが、運動やスポーツをする習慣が定着していない
・学力・体力・生活習慣には相関関係が認められる

✓ 自尊感情・規範意識

・身につけている子どもも多くいるが、全国平均と比べ
「きまりを守っている」割合が低い
「夢や目標を持っている」割合が低い

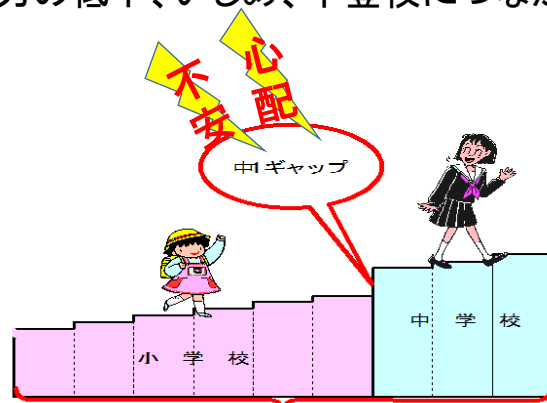


2-(5) 中1ギャップ

小学校から中学校に進学した時に、学習内容や生活リズムの変化になじむことができず、学力の低下、いじめ、不登校につながったりする現象。

小学校

- ・学級担任制
- ・きめ細かく指導
- ・单元テスト
- ・緩やかな児童指導
- ・部活動なし



中学校

- ・教科担任制
- ・授業スピードが速い
- ・定期考査重視
- ・より厳しい生徒指導
- ・部活動あり
- ・新たな人間関係構築

9年間のつながりが重要

3. 再編推進審議会

香春町の学校再編を具体的に議論するため

審議会に再編案を依頼

教育委員会

香春町立小中学校
再編推進審議会

学校施設整備部会

教育課程部会

通学・学校運営支援部会

意見(中間答申)をまとめ
教育委員会に提出

計23名
区長代表
PTA(保護者会)代表
小中学校長
学識経験者等

3-① 第1次中間答申（H27.11）3つの柱



- 小中一貫教育
9年間を通じた教育、施設一体型の学校



- 建設候補地
現在の勾金中学校



- 通学方法
スクールバスを基本とした通学方法

3-② 第2次中間答申（H28.12）2つの柱

義務教育学校制度の導入

- ①1人の校長のもと、1つの教職員組織が一体となり、
「9年間を見通した学校教育目標を設定」
- ②9年間の系統性・体系性に配慮がなされた教育課程編成を作成
「つながりを意識した教育を実施」

学年段階の区切り


- ①平成32年4月の開校後、段階的に検討・導入
開校時は、他市町村にみられるような、「4-3-2等」の区切りを
固定化しない。
学習指導要領に則った、連続する9年間の義務教育を行う。

3-③ 小中一貫教育と義務教育学校の違い

	現行制度化での小中一貫教育	義務教育学校
修業年限	・小学校6年 ・中学校3年	・9年 (ただし、小学校・中学校の学習指導要領を準用するため、前半6年と後半3年の課程区分は確保)
教育課程	・小学校・中学校それぞれ、教育目標の設定、教育課程の編成	・9年間の教育目標の設定、9年間の系統性を確保した教育課程の編成
組織	・小学校・中学校それぞれに校長(計2人) ・小学校・中学校別々の教職員組織	・1人の校長 (ただし、総括担当の副校長又は教頭1人措置) ・1つの教職員組織 (教職員定数は、小学校の定数と中学校の定数の合計数と同じ)
免許	・教員は所属する学校の免許状を保有すれば十分	・教員は原則、小・中両免許状を併有 (当面は小学校免許状で小学校課程、中学校免許状で中学校課程を指導可能としつつ、免許状の併有を促進)
その他	・学校評価は、小学校・中学校それぞれで実施 ・学校運営協議会は、小学校・中学校それぞれに設置	・学校評価は、義務教育学校として実施 ・学校運営協議会は、義務教育学校として1つ設置

出典：文科省資料抜粋  21

3-④ 義務教育学校になるとどうなるか・・・

 6年生の卒業式、7年生の入学式はどうなりますか？

⇒義務教育学校の修業年限は9年ですので、6年生の卒業証書は授与されません。修了証書を発行することを検討していきます。

⇒また、6年生の修了は「前期課程の修了」、7年生の開始は「後期課程の始業」となりますので、“節目となるような儀式”を実施することを検討していきます。

 6年生修了後、他市町村の中学校へ入学できますか？

他市町村の子どもが、7年生から義務教育学校に入学できますか？

⇒義務教育学校は、前期(6年)、後期(3年)の課程に区分し、小学校・中学校の基準を準用することとされています。

よって、どちらの場合についても可能です。

 22

3-⑤

教職員数（例：「1小1中」が「義務教育学校」になった場合）

1小学校
(6学級校)



校長 1人

職種	定数
教頭	1人
教諭	7人
養護教諭	1人
事務職員	1人
小学校計	10人

1中学校
(3学級校)



校長 1人

職種	定数
教頭	1人
教諭	7人
養護教諭	1人
事務職員	1人
中学校計	10人

総計 22人

義務教育学校
(9学級校)



職種	定数
校長	1人
副校長	1人
計	2人

職種	定数
教頭	1人
教諭	7人
養護教諭	1人
事務職員	1人
前期課程計 (6学級)	10人

職種	定数
教頭	1人
教諭	7人
養護教諭	1人
事務職員	1人
後期課程計 (3学級)	10人

総計 22人

3-⑥ 小中一貫教育の成果・課題

期待される成果

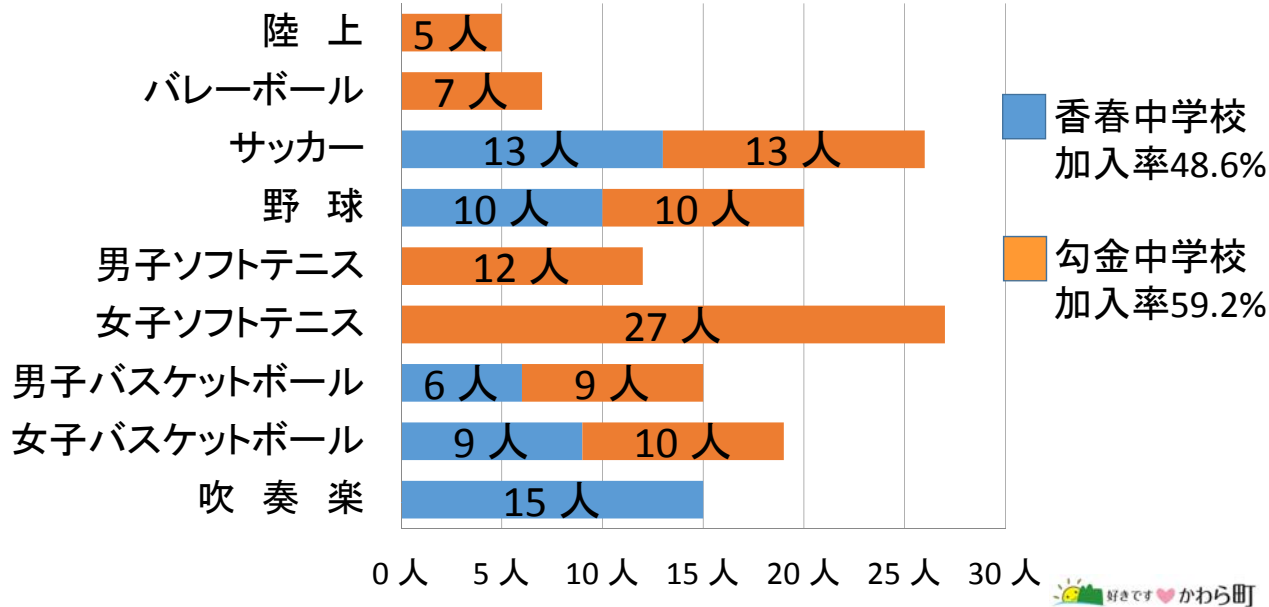
- ・ 中1ギャップの緩和
- ・ 中学校への進学に不安を感じる児童が減少
- ・ 多様な異学年交流の拡充による自己肯定感の高まり

考えられる課題

- ・ 児童生徒の人間関係の固定化
- ・ 小学校高学年のリーダー性・主体性の育成
- ・ 教職員の負担感・多忙感

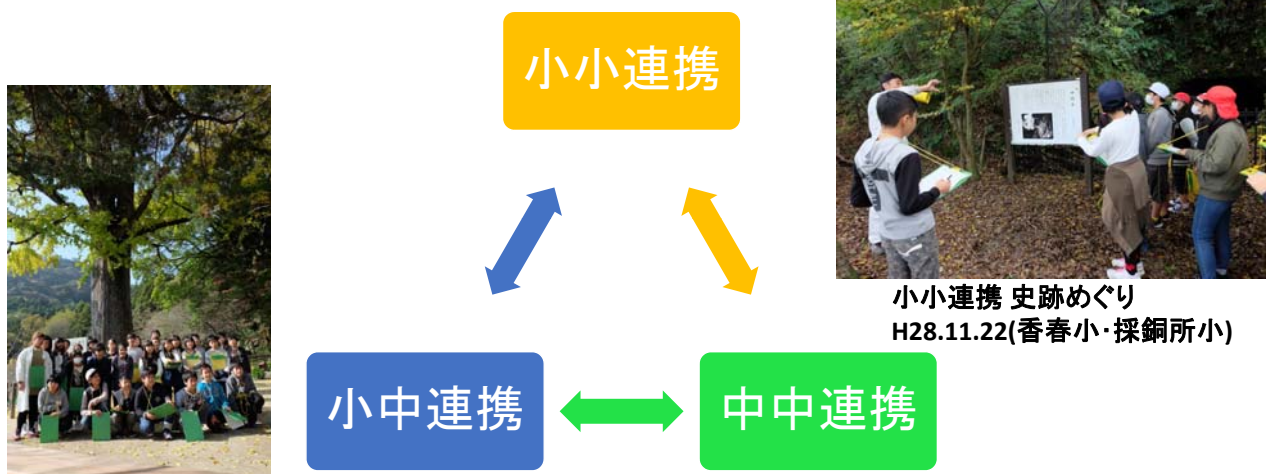
課題克服の
対応策

3-⑦ 部活動の加入状況(H28.5現在)



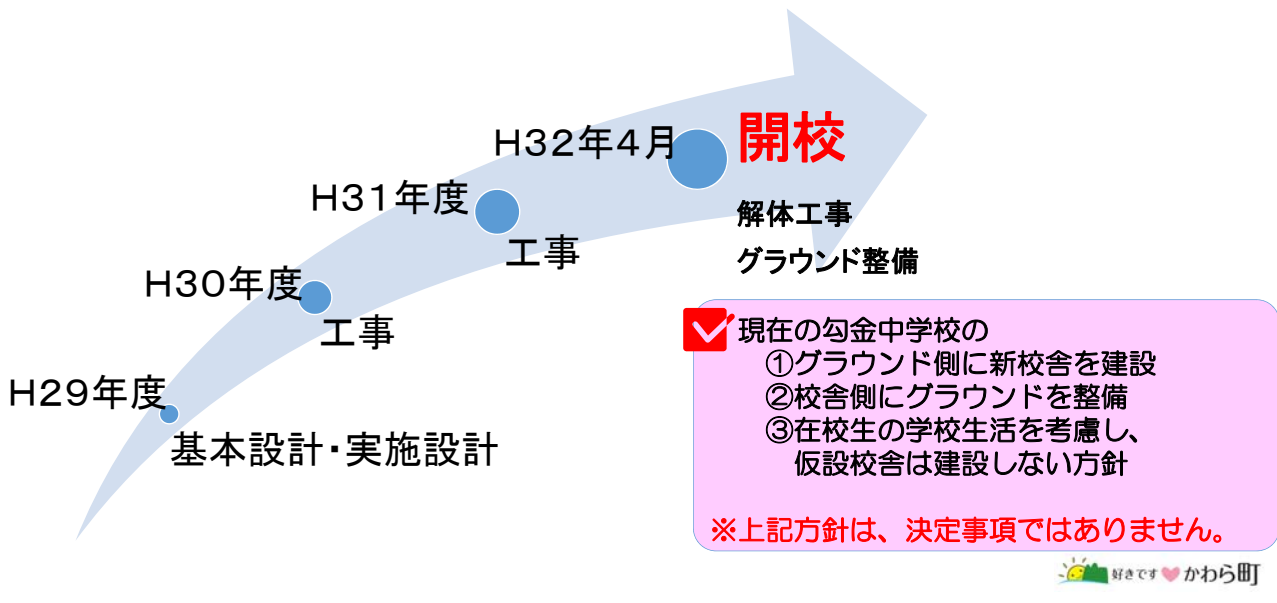
4. 今後のスケジュール (学校間の連携)

開校後、円滑にスタートするため



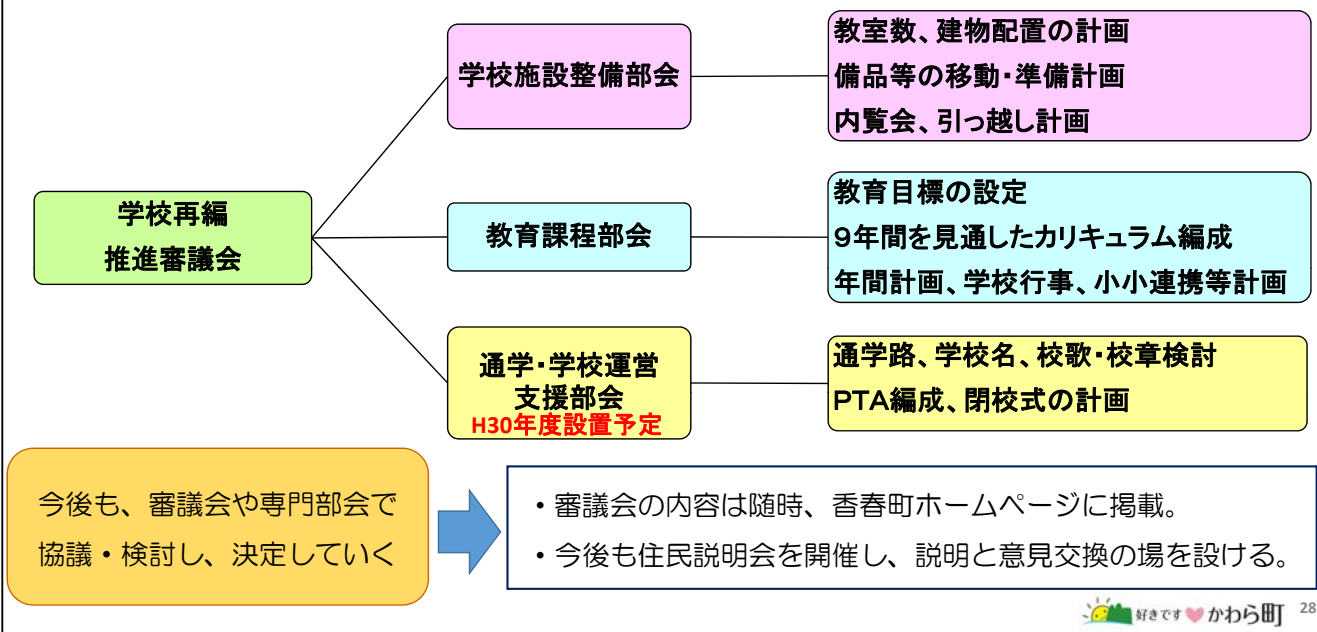
計画的な連携交流で、子どもたちの不安解消を図る

4-① 今後のスケジュール（ハード面）



27

4-② 今後のスケジュール（ソフト面）



28